

2ー4 2024 年度分 博士前期課程修了生アンケート【アラムナイ室】※20260911 更新

※2024 年度分は 2025 年度分とあわせて 2025 年度に実施

対象者：2019、2021、2023 年度修了生

実施期間：2026 年 1 月 7 日（水）～2 月 6 日（金）

年度		2019	2021	2023	計
世界言語社会	修了生数	92	82	96	270
	回答者数	10	9	8	27
	回答率	10.9%	11.0%	8.3%	10.0%
国際日本	修了生数	42	45	37	124
	回答者数	6	9	4	19
	回答率	14.3%	20.0%	10.8%	15.3%
地域・国際	修了生数	1	-	-	1
	回答者数	0	-	-	0
	回答率	0	-	-	0
博士前期計	修了生数	135	127	133	395
	回答者数	16	18	12	46
	回答率	11.9%	14.2%	9.0%	11.6%

修了した専攻、履修コース

専攻	コース	回答数
世界言語文化社会専攻	言語文化コース	14
	国際社会コース	14
	PCS コース	0
国際日本コース	国際日本コース	18
	日本語教育リカレントコース	1
回答しない		1
計		48

現在の状況について

教育研究機関で勤務	11
教育研究機関以外で勤務	27
就職活動中	2
進学	5
その他	2

回答しない	1
-------	---

本学大学院に進学した目的・理由(自由記述)

・省略

目的・計画はどの程度達成されたか

達成できた	9
ほぼ達成できた	32
あまり達成できなかった	6
全く達成できなかった	0
不明	0
回答しない	1

本学博士前期課程で修得できたこと(複数回答)

学問分野の枠にとらわれない知識・思考	26(54.2%)
様々な課題に対応できる総合力	24(50.0%)
独創的な思考で課題に取り組む能力	18(37.5%)
課題解決に必要な情報・資料を的確に収集し、分析する能力	38(79.2%)
明確な論理展開、わかりやすい表現を備えた文章を執筆する能力	28(58.3%)
回答しない	2(4.2%)

本学博士前期課程に不足していること(複数回答)

学問分野の枠にとらわれない知識・思考	13(27.1%)
様々な課題に対応できる総合力	11(22.9%)
独創的な思考で課題に取り組む能力	14(29.2%)
課題解決に必要な情報・資料を的確に収集し、分析する能力	6(12.5%)
明確な論理展開、わかりやすい表現を備えた文章を執筆する能力	12(25.0%)
回答しない	7(14.6%)

現在所属している機関の種別

教育研究機関	11
一般企業	27

公務員	3
その他	2
未回答	5

現在所属している機関の名称

・省略

現在の身分

学生(修士)	0
学生(博士)	4
常勤(無期雇用)	25
常勤(有期雇用)	8
非常勤雇用	1
その他	4
未回答	6

現在の職位(就職した方のみ、自由記述)

・省略

将来、研究者となることを希望するか否か

既に研究者としての職を得ており、継続する予定	3
既に研究者としての職を得ているが、将来的には企業での勤務を希望	0
現在は研究者ではないが、将来は研究者となることを希望	18
現在は研究者ではなく、今後も研究者となることは希望しない	15
その他	5
未回答	7

自身のキャリアを形成するうえで役立ったと考える学び(複数回答)

世界の諸地域の言語・文化に関する学び(特定の言語・地域に関する学び)	27(56.3%)
世界の諸地域の言語・文化に関する学び(特定の言語・地域に捉われない学び)	22(45.8%)
世界の諸地域に歴史・地域に関する学び	17(35.4%)
現代世界のアクチュアルな諸問題に関する学び	14(29.2%)
国際的な政治、社会、経済に関する学び	13(27.1%)

国際的なリーダーを目指すための英語による学び	5(10.4%)
現代日本語、日本語史、方言、対照日本語研究などの日本語学に関する学び	12(25.0%)
日本語教育の理論と実践に関する日本語教育に関する学び	14(29.2%)
古典文学、近現代文学、文化研究など、日本語文学・文化に関する学び	4(8.3%)
日本の伝統社会、現代社会、日本の歴史など日本社会に関する学び	13(27.1%)
その他	2(4.2%)

<その他の回答>

・省略

キャリアを形成するあたり、本学が今後充実すべきと考える学び(複数回答)

世界の諸地域の言語・文化に関する学び(特定の言語・地域に関する学び)	11(22.9%)
世界の諸地域の言語・文化に関する学び(特定の言語・地域に捉われない学び)	10(20.8%)
世界の諸地域に歴史・地域に関する学び	13(27.1%)
現代世界のアクチュアルな諸問題に関する学び	21(43.8%)
国際的な政治、社会、経済に関する学び	18(37.5%)
国際的なリーダーを目指すための英語による学び	16(33.3%)
現代日本語、日本語史、方言、対照日本語研究などの日本語学に関する学び	3(6.3%)
日本語教育の理論と実践に関する日本語教育に関する学び	8(16.7%)
古典文学、近現代文学、文化研究など、日本語文学・文化に関する学び	8(16.7%)
日本の伝統社会、現代社会、日本の歴史など日本社会に関する学び	13(27.1%)
その他	4(8.3%)

<その他の回答>

・省略